

平成 30 年度静岡市協働パイロット事業審査委員会 審査結果講評

平成 30 年 6 月 15 日

今年度の協働パイロット事業では、11 件の協働事業が提案されました。各企画提案について、書類審査（一次審査）を実施し、これを通過した 8 件の企画提案を対象に面接審査を実施しました。

審査においては、次の 6 つの評価点に基づいて評価・採点を行いました。

- (1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか
- (2) 協働にふさわしい事業か
- (3) NPO の先駆性・創造性を活かした事業か
- (4) 実行性が十分に感じられるか
- (5) 予算の見積りは適正か
- (6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か

協働パイロット事業は試行的な協働事業ですが、これを契機に本格的な協働事業への発展や、継続的な事業実施へのステップアップを目指すものであるため、「(1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか」、「(2) 協働にふさわしい事業か」及び「(6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か」については、特に重点を置いて評価をしました。

面接審査の結果、以下の 4 件の企画提案を平成 30 年度静岡市協働パイロット事業の候補として選考しました。

1 『ロゲイニングで駿府の街再発見！』

NPO 法人 Map,Navigation,and Orienteering Promotion

2 『ママのコアトレーニングで姿勢美人』

NPO 法人ピュアスポーツクラブ

3 『静岡デスティネーションキャンペーン連動型「しずまえバル」～しずまえデスティネーションバル～』

静岡おまちバル実行委員会

4 『学生×デザイナー×障がい者就労継続支援 B 型事業所授産品販売促進支援プロジェクト』

NPO 法人アートコネクト静岡

【審査委員講評】

◎『ロゲイニングで駿府の街再発見!』 《採択》

NPO 法人 Map,Navigation,and Orienteering Promotion

本市では「市民一人1スポーツ」を目標として掲げ、運動・スポーツの実施率向上に取り組んでいるところです。本提案は「フォトロゲイニング」という、老若男女や経験を問わず広く市民の参加が期待できるテーマを掲げており、これまでも数百人規模でのイベントを開催してきた実績があることから、実効性・課題解決性を高く評価しました。

また、本事業には「参加者がまちを知る機会になる」というメリットもあり、スポーツ活動促進に留まらず、地域コミュニティの醸成が期待されることから、静岡市との協働事業としてふさわしいと考えました。

今回は「防災」というテーマに基づいた開催となりますが、今後は様々なテーマを取り上げることで、公民かかわらず広い連携が見込まれる事業です。市民のコミュニティ構築の場として、貴団体が大きな役割を果たされていくことを期待します。

◎『ママのコアトレーニングで姿勢美人!』事業 《採択》

NPO 法人ピュアスポーツクラブ

「子育て世代女性のスポーツ実施率の低迷」という現状を捉え、その解決に取り組もうという意欲を感じる事業提案でした。また、忙しい母親に自分の時間を確保するとともに、育児に不慣れな方に対して、子供との遊び方・接し方を学ぶ場となり、少子化対策につながることを期待されます。母親目線の市民ニーズに応えた提案である点を評価しました。

本事業では市民アンケートを実施することで、より深く市民ニーズの発掘を行うことができます。得られた分析結果が本市にフィードバックされ、より有効な施策に繋がっていくことを期待します。

貴団体においても、分析結果を基に事業の最適化を行い、今後のより継続的な形での事業実施を行っていくためのビジョン構築をご検討ください。

◎『静岡デスティネーションキャンペーン連動型『しずまえバル』～しずまえデスティネーションバル～』事業 《採択》

静岡おまちバル実行委員会

貴団体は、これまでも「静岡おまちバル」を全14回にわたり開催し、本市の地域振興に貢献されてきた実績があります。そうした中で、本市の課題テーマである「しずまえ寿司バルの発展的展開」及び『しずまえレシピコンクール』入賞レシピの普及を融合した形でのしずまえバル事業の開催について、貴団体の独自性・経験を活かすことができるという点を高く評価しました。

同事業においては静岡デスティネーションバルとの連携が計画されております。事業実

施にあたっては、より深い形での連携を密に計画いただき、一層効果的な実施を図っていただきたいと思います。

◎ 『学生×デザイナー×障がい者就労継続支援 B 型事業所授産品販売促進支援プロジェクト』業務 <採択>

NPO 法人アートコネクトしずおか

授産品の販売促進による障がい者の就労環境改善の取組みは、今後さらに重要となっていく課題であり、社会的課題の適切な把握という点で高く評価しました。同事業には、この課題に対する先駆的なものとしての期待があります。また、貴団体はこれまでも事業所に対してデザイン提案や販路拡大についての話し合いを行ってきた実績があり、堅実な運営が可能と考えました。

授産品の販売については、販路や事業所の状況など様々な要因が関わっている難しい分野であり、単にパッケージングデザインのみでは打破しきれない問題です。モデルケースとなる対象事業所の選定や講座内容の充実等、より効果的な手法を検討しつつ、事業を進めていただきたいと思います。

【注記】

協働パイロット事業において採択された事業は、協働事業担当課との協議及び継続実施に関する審査を経て、最長2年間の継続実施ができる可能性があります。継続実施を検討する際は、継続することによる効果や、将来的な事業計画を明確にしてください。

● 『生産者とまちと消費者をつなぐ“静岡型”食と文化の魅力発信モデルの構築』 <不採択>

マツプロ企画編集部

「生産者と消費者をつなぐ」というコンセプトを持った事業であり、生産者のストーリーと商品とをパッケージングするという試みは、しずまえ鮮魚のPRとして効果が認められ、地域活性化にも貢献がなされるものと評価できます。

反面、事業1年目については試験販売期間として位置づけられている中で、サンプリング先数が十分であるかどうかという点や、販売価格の設定等、事業計画としては検討が必要と思われる点がいくつか見受けられたことから、採択には至りませんでした。

漁業就業者数が年々減少している現状で、20代以下のメンバーで構成された貴団体の提案するコンセプトは、しっかりと課題を捉えているものと考えます。今後も本市の水産業を守っていくための活動を継続していただきたいと思います。

●黒曜石オリンピック～生きる力を学ぶ～ <不採択>

登呂会議 (ARTORO)

貴団体はこれまでも、本市の登呂博物館において様々な企画を開催し、市民への啓発活動・地域の振興活動を展開されてきました。本提案についても、貴団体の独自性を存分に発揮され、企画内容のクオリティの高さという点において非常に期待感の高いものとなっています。

しかしながら、テーマ設定や事業の規模感から見ても、本事業は静岡市内に留まるべき水準を超えており、価格設定とクオリティとの釣り合いに疑問が残ります。そのため、予算上の検討が必要であると判断いたしました。

協働パイロット事業としては不採択となりましたが、貴団体の登呂遺跡をフィールドとしたこれまでの実績は確かなものであり、今回の事業提案をきっかけに、今後、登呂博物館との連携が前進することを期待します。

●『ノルディックウォーキングによる健康増進事業』 <不採択>

静岡県ノルディックウォーキング協会

スポーツ実施率向上という課題テーマに即して、若者から高齢者まで無理なく参加が可能な本事業を提案していただきました。

これまでの実績も十分積まれており、事業としての実行力の高さが認められます。しかしながら、スポーツ実施率向上を達成するための施策としては、市民のリピート率向上やコミュニティ形成に関する提案を盛り込んでいただきたく感じました。

今回は採択に至らなかったものの、ノルディックウォーキングは誰にでも手軽に行うことのできる優れた競技であり、本市の目標の一つである「健康長寿のまちづくり」にフィットした活動です。貴団体におかれましては、今後とも同競技の啓蒙活動を継続していただくことを期待しております。

●『「しずまえ・オクシズまつり」ステージイベント「ちゃっつきりディスコ」』 <不採択>

静岡ショートフィルム実行委員会

地域の文化振興のため、しずまえ・オクシズ地域の民謡の保全という観点は鋭いものがあり、また民謡の現代化という切り口は非常にユニークなものであると考えます。また、作成された楽曲が以後残っていくものであることも、事業が形として残るという意味で評価できます。

一方で、ディスコイベントとしての内容が前面に出ていることから、しずまえ・オクシズ地域の PR という点が薄まっている感があり、社会的課題の認識・解決という面に疑問が残りました。

ステージイベントとしては非常に面白いものがあり、「親子3代が一緒に踊れる」とい

うコンセプトは地域コミュニティへ一体感をもたらす事のできる試みであると考えます。今回は残念ながら不採択となりましたが、今後も活動を継続していただき、地域振興活動を推進していただきたいと考えております。

●『しずまえ寿司ほろ酔いツアー&しずまえ地酒まつり』 <不採択>

NPO 法人まちづくり考房 SHIMIZU

しずまえ鮮魚の PR を目指すにあたり、「流通の不安定さ」というポイントを押さえ、鮮魚単体としての PR から離れた形での事業提案であり、課題解決に向けて具体的な背景を押さえた、熟慮の上での提案であると受け取りました。

しずまえ鮮魚を「酒の肴」として PR するというアイデアは斬新であり、時期を選ばない PR が期待できる点で評価できます。一方で、地酒のクローズアップが強く、しずまえ鮮魚の存在感が薄められてしまうのではないかという懸念が残りました。

今回、本提案の課題テーマである『しずまえ寿司バル』の発展的展開とは離れてしまった面があり、採択となりませんでした。しかしながら、地域経済の活性化という意味合いでは、地酒としずまえ鮮魚のパッケージングは面白いものがあります。より洗練された形で事業を展開され、今後の本市の産業振興にご協力いただきたく思います。

●『学校と保護者の関係を円滑にする電話相談窓口 School Support Service 3S』 <不採択>

一般社団法人 精神相談・心理教育・就労支援センター 3S

昨今社会問題化している学校でのいじめ問題について広い視野で解決を図る提案であり、社会的テーマの把握という点で非常に高く評価できます。

その一方、保護者による学校への電話相談を他団体が受け付けることで、学校側の負担の軽減や、相談者側の不安解消にどの程度資する結果となるのかが見えづらい点が評価に影響しました。また、見込み相談件数を踏まえると、必要経費等の見積もり額についても検討の余地があると考えます。

ただ、この問題は非常に重大かつ喫緊のものです。貴団体におかれましては、より良い教育現場の実現のため、地道な活動を展開していただきたいと考えます。

●『木造住宅耐震化の障害問題調査と補強事業への活用について』 <不採択>

公益社団法人静岡建築士会

貴団体は、木造住宅耐震化に関する周知活動について本市に協力いただいていた実績がございます。東日本大震災以後、一般に防災への意識は高まりつつあるとはいえ、住宅の耐震化は今一歩進んでいない現状があります。そうした現状で、貴団体の活動は市民の生命財産を守る重要なものであると考えております。

しかしながら本提案については、事業実行の結果としてアンケート返答率の向上がど

の程度期待できるのかという点において疑問が残りました。調査対象者への聞き取りにあたり、サンプリング件数及びその方法・内容についてより効果的なものを検討いただきたく、今回は不採択としました。

上述のとおり、本提案にて着目いただいた課題は非常に重要なものです。今後も本市における防災の向上のため、ご協力をお願いいたします。